



Cisco DNA Assurance の概要

- [Cisco DNA Assurance の概要 \(1 ページ\)](#)
- [アシュアランス のアーキテクチャ \(2 ページ\)](#)
- [IPv6 アドレスのサポート \(3 ページ\)](#)
- [ユーザープロファイルの役割および権限 \(3 ページ\)](#)
- [アシュアランス を始める \(3 ページ\)](#)

Cisco DNA Assurance の概要

アシュアランス 増え続けるビジネスニーズに対応するために、優れた一貫性のあるサービスレベルを保証する包括的なソリューションを提供します。リアクティブなネットワーク監視とトラブルシューティングに対応するだけでなく、ネットワーク実行のプロアクティブかつ予測的側面にも対応し、クライアント、アプリケーション、およびサービスの最適なパフォーマンスを確保します。

アシュアランス には、次のような利点があります。

- ネットワーク、クライアント、およびアプリケーション関連の問題へ実用的な情報を提供します。これらの問題は、複数の情報の基本的小および高度な相関関係から成り立っているため、ホワイトノイズと誤検出は除外されます。
- システムガイド付きとガイドなしの両方のトラブルシューティングを提供します。アシュアランス は多くの問題に対してシステムガイド付きアプローチを提供します。このアプローチでは、複数の重要業績評価指標 (KPI) が関連付けられ、テストおよびセンサーからの結果を使用して問題の根本原因を特定してから、可能なアクションを提示して問題を解決します。データの監視ではなく、問題点を浮き彫りにすることに重点が置かれています。アシュアランス では、非常に頻繁にレベル3サポートエンジニアの作業が実行されません。
- ネットワークとネットワークデバイス、クライアント、アプリケーション、およびサービスに関する詳細な正常性スコアを提供します。アクセス (オンボーディング) と接続の両方のクライアントエクスペリエンスが保証されます。

アシュアランスのアーキテクチャ

企業は多数のネットワークデータを扱っています。IT組織にとっては、ネットワークデータの量、多様性、速度、および精度への対応が重要です。アシュアランスは、ネットワークデータの問題（ある場合）を処理するために設計されています。

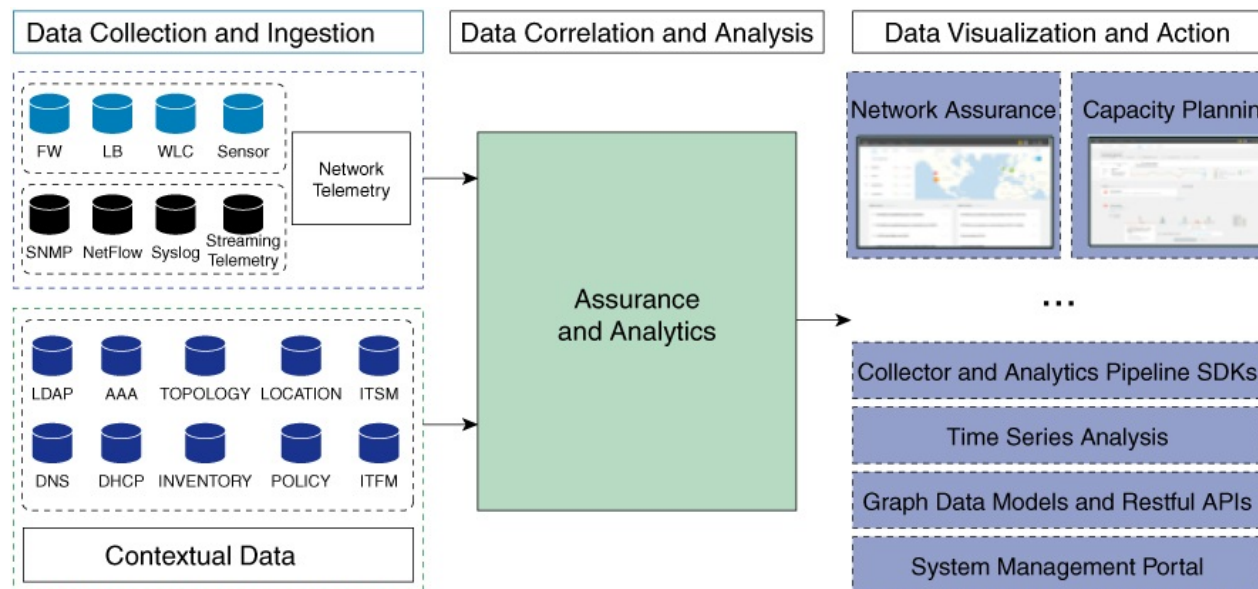
アシュアランスは多目的でリアルタイムのネットワークデータの収集および分析エンジンであり、これによりネットワークデータのビジネスにおける可能性を大幅に向上させることができます。

アシュアランスは収集層と分析層を簡略化および抽象化し、Web インターフェイスとともに豊富な API を提供しています。アシュアランスは、1 セットのネットワークデータを使用して幅広い使用例に対応します。これらの利点により、ネットワークデータの収集および分析に伴う動作およびネットワーク管理のオーバーヘッドが合理化され、企業はそれぞれの企業目標に効果的に注力できます。

柔軟なアーキテクチャを備えたアシュアランスは、広範な Cisco DNA 戦略をサポートしながら、モニターリングとトラブルシューティング、コスト管理、ポリシー検出など、一般的な多くの使用例に対応します。

次の図とその後の情報で、アシュアランスアーキテクチャについて説明します。

図 1: アシュアランスアーキテクチャ



- **データ収集と取り込み:** アシュアランスはストリーミングテクノロジーを活用して、さまざまなネットワークテレメトリとコンテキストデータをリアルタイムで収集します。
- **データ相関関係と分析:** データが取り込まれると、アシュアランスはデータを関連付けて分析します。

- **データの可視化とアクション**：データはデータベースに保存され、API を介してアシュアランス やキャパシティプランニング用のその他のアプリケーションに公開されます。アシュアランス は、以下を提供するオープンシステムです。

- コレクタと分析パイプライン SDK
- 時系列分析
- グラフデータモデルと RESTful API
- システム管理ポータル

IPv6 アドレスのサポート

Cisco DNA Center および Cisco DNA Assurance では IPv6 アドレスがサポートされています。単一の IPv6 アドレスは多くのテキスト形式で表現できますが、Cisco DNA Center では標準形式の IPv6 アドレスのみサポートされています。標準形式は、次に示されているように、正規化圧縮形式とも呼ばれます。

```
2001:db8::1:0:0:1
```

ユーザープロファイルの役割および権限

Cisco DNA Center は、ロールベース アクセス コントロール (RBAC) をサポートします。ユーザープロファイルに割り当てられたロールは、ユーザーが実行する権限を持つ機能を定義します。Cisco DNA Center には、次の 3 つの主要なデフォルトユーザーロールがあります。

- SUPER-ADMIN-ROLE
- NETWORK-ADMIN-ROLE
- OBSERVER-ROLE

SUPER-ADMIN-ROLE は、ユーザーに幅広い機能を提供し、カスタムロールの作成やユーザープロファイルへの割り当てなど、Cisco DNA Center GUI ですべてのアクションを実行できるようにします。NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center GUI での機能が制限されます。

Cisco DNA Center でアクションを実行できない場合、それを許可しないロールがユーザープロファイルに割り当てられていることが原因である可能性があります。詳細については、システム管理者に確認するか、または [Cisco DNA Center 管理者ガイド](#) を参照してください。

アシュアランス を始める

アシュアランス の使用を開始するには、まず、サーバーがネットワーク外と通信できるように Cisco DNA Center を設定する必要があります。

Cisco DNA Center の設定後、現在の環境でアシュアランス の使用を開始する方法を決定します。

- 既存のインフラストラクチャ：既存のインフラストラクチャ（既存の展開）があれば、ディスカバリを実行して開始します。ディスカバリを実行すると、すべてのデバイスが **[Inventory]** ウィンドウに表示されます。詳細については、[基本的な設定のワークフロー](#)を参照してください。
- 新規または存在しないインフラストラクチャ：既存のインフラストラクチャがなく、ゼロから開始（新規導入）する場合は、ネットワーク階層を設計します。ネットワーク階層の設計については、[Cisco DNA Center ユーザガイド](#)を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。